

平成27年度 新規採用職員アンケート

平成27年度の新規採用職員81名（事務系33名、技術系48名）に試験勉強に関することや受験生の皆さんへのアドバイスを聞きました。

事務系・技術系

事務系	技術系	合計
33	48	81

新卒・既卒

新卒	既卒	合計
46	35	81

Q1. 公務員を目指そうと思った時期

小学校	中学校	高校	各種専門学校	高等専門学校	短大	大学	大学院	社会人	その他	合計
3	2	6	0	0	1	40	10	18	1	81

Q2. 受験勉強を始めた時期

(1) 全体

半年未満	半年～1年前	1年前～1年半前	1年半以上前	合計
23	31	15	12	81

(2-1) 事務系

半年未満	半年～1年前	1年前～1年半前	1年半以上前	合計
2	12	11	8	33

(2-2) 技術系

半年未満	半年～1年前	1年前～1年半前	1年半以上前	合計
21	19	4	4	48

Q3. 採用試験情報を得たツール（複数可）

(1) 全体

県HP	県SNS	大学等就職課	予備校	新聞	受験雑誌	その他
72	7	19	6	2	1	0

(2-1) 事務系

県HP	県SNS	大学等就職課	予備校	新聞	受験雑誌	その他
26	6	8	6	1	0	0

(2-2) 技術系

県HP	県SNS	大学等就職課	予備校	新聞	受験雑誌	その他
46	1	11	0	1	1	0

Q4. 徳島県（人事委員会等）が主催・参加する説明会への参加経験

(1) 全体

参加あり	参加なし	合計
33	48	81

参加ありのうち参加した説明会（複数可）

県庁開催	大学等の説明会	民間の合同企業説明会
21	16	3

(2-1) 事務系

参加あり	参加なし	合計
15	18	33

参加ありのうち参加した説明会（複数可）

県庁開催	大学等の説明会	民間の合同企業説明会
10	9	2

(2-2) 技術系

参加なし	参加なし	合計
18	30	48

参加ありのうち参加した説明会（複数可）

県庁開催	大学等の説明会	民間の合同企業説明会
11	7	1

Q5. 採用試験前にやっておけば良かったと思う試験対策

【事務系】

- 徳島県の行政と他県の行政の細かな比較
- 論文対策
- 新聞を読む。ニュース番組を見る。
- とにかく早く試験勉強を始める。
- 数的処理をなるべく得意にする。教養でつまづくと午後の専門試験に影響が出る。
- 面接に向けての練習。自分がどう動いているかは自分ではなかなか分からない。
- 世の中で問題となっているニュースについて、自分の考えを持っておくこと（面接対策）
- 自己分析
- 法律科目をきちんと整理して勉強
- 面接の練習をもう少ししておくべきだった。
- 面接前に自己分析を入念にしておけば良かった。
- 学科や面接の対策をもう少し早めにしておけばよかった。特に自己分析や将来のビジョンをもっとはっきりと時間をかけて考えたかった。
- もっと徳島県のことを深く知り、面接に臨めばよかった。
- 苦手な分野はほどほどにして、得意な分野を徹底的にやって極力ミスを少なくする。

【技術系】

- 時事問題について関心を持つ。徳島県の動向を常に意識する。
- 新聞を毎日読む。
- 政治に関する知識。
- 面接練習
- 筆記試験の勉強
- 大学の講義で必修科目（水力・構力・土力）をしっかり受けておけば対策できた。
- もっと試験に関する情報を収集しておくべきだった。
- 面接試験対策
- 知り合いに職員の方がいれば、内容の雰囲気をつかむことができるので良いと思う。
- 早い時期に傾向を分析し、対策を練ること。
- 農業体験。農業新聞を読む。
- 面接の練習をあまりしていなかったなので、回数を重ねていればよかった。
- 1次試験だけでなく、2次試験以降の対策を早めにしておけばよかった。
- 1次試験の試験課目を確認し、配点に応じて課目ごとに勉強時間等を傾斜する。
- OB訪問
- 教養問題は、自分の一般常識的な知識にもつながるのでもっと勉強すべきだった。
- 面接対策として、県職員にどのような仕事があるのか、何の事業に力を入れているのかあらかじめ調べておく。
- 全ての対策を早くしておけばよかった。
- 個人面接などの筆記試験以外の試験対策
- 教養試験に関する勉強
- 一般教養の対策
- 過去問を多く解く。教科書よりも問題に慣れる。
- 従来の勉強だけでなく、最近変わった制度や法律をもっと知っておけばよかった。
- 公務員試験対策本の中にある面接対策でよく聞かれる内容にすべて答えられるようにする。
- 日常生活での心がけ、行動

Q6. 今後受験される方へのアドバイス

【事務系】

- ・県主催の企画等に参加すると、やる気につながる。
- ・筆記試験の対策に目がいきがちだが、面接の対策、政策について調べることを余裕を持って早めに始めるべきだ。
- ・とにかく面接練習は数を処理していくことが大事。
- ・時事問題を理解できていると、試験だけでなく、論文・面接でも役立つ。
- ・早めに模試等を受けて自分に足りないものを自覚すること。
- ・志望動機をしっかりと考えて、関係する知識を勉強しておく、2次試験で広く応用でき、役立つ。
- ・できるかぎり他の人に見てもらふこと。難しいなら、自分で動画を撮って見てみる。
- ・早めにどのようなことがしたいかなど、考えておく。
- ・面接では自分のやりたいことを言えるよう、分析しておいた方がよい。
- ・面接対策は緊張しないこと。
- ・早め早めに準備することが大切。
- ・最後まであきらめなければ、案外うまくいくものだ。
- ・身のまわりの様々な立場の人に相談する。
- ・筆記より面接が大事。
- ・面接等はリラックスして臨めるように体調管理などをしっかりする。
- ・座学だけでなく、アルバイトやボランティア活動などを経験して、自分の引き出しを増やす。
- ・受験生なので甘えない。とにかく勉強。言い訳しない。気分がのらない時は、時間を決めて遊ぶ。
- ・「なぜ自分が県職員になりたいか」「県職員になれたら何がしたいか」をはっきりさせる。
- ・面接では自分が言いたいことをしっかりまとめておき、悔いのないように臨む。
- ・勉強することはもちろん大切だが、たまには息抜きをするくらいの気持ちを持つ。

【技術系】

- ・早い段階から受ける団体のチェックをする。試験日時の日程をチェックする。
- ・広く深くすること。
- ・パソコンの使い方。
- ・面接や小論文など、論理的に考える力が必要になると思うので、普段から物事に対して、なぜか等疑問を持つことが大切。
- ・愛嬌が一番大切。
- ・大学の講義で公務員試験の対策ができる。
- ・先輩に積極的に関わる。
- ・素の自分で勝負することが大切。
- ・対策は、早ければ早いほど良いので、計画的に対策を講じればよい。
- ・早めに取り組むことが大事。
- ・日頃のコミュニケーションの中で、意見や考えをはっきりと簡潔に伝える練習をすると良い。
- ・筆記試験は知識が武器だが、面接は経験が武器になる。
- ・専門科目は学内の講義等をきちんと受けていけばよいので、教養科目などを重点的に勉強した方がよい。平日頃から社会のことや様々な分野に興味を持って考えるようにするとよい。
- ・広く浅くがポイント。
- ・早めに準備しておく。
- ・他県でもいいので、公務員になった先輩を見つけてコンタクトを取る。
- ・面接はありのままの自分で気取らない。
- ・人前で自分の意見をはっきり言えるように常に意識する。
- ・県HPや知事の会見(TV)などを見ておく。
- ・対策は、早め早めに行うことが大切。
- ・落ち着いた笑顔で。
- ・なかなか面接試験の対策をするのは難しいが、友人に手伝ってもらって練習するのは大切。
- ・面接ではいかに自分の思いを表現できるかが大切。(表現しすぎるのは良くない。)
- ・徳島県の行動計画や統計などチェックしておく。
- ・自分がなぜ県職員として働きたいのか、その理由を自分自身の中で明確にして、強い気持ちで受験する。
- ・「なりたい自分」を想像して努力を続ける。
- ・国家試験の勉強をしていけば専門は大丈夫。2次・最終試験の面接対策をしっかりとやる。
- ・まごころと熱意
- ・気持ちを楽にして受ける。
- ・コミュニケーション能力を身につけておくこと。
- ・人間性は大事。まずは人柄だと思う。
- ・日頃から徳島県に興味を持って、どんな政策が行われているのかアンテナを張っておく。